



ホーム>世界>インド「ダリットたちの尊厳回復プログラム」報告2

一緒に歩もう！一緒に変わろう！「立ち上がった世界の人々」の21世紀の夢を応援しよう！

プログラム内容
2010年9月

報告1
10月

報告2
11月

報告3
12月

年間レポート
2011年9月

報告4
12月

報告5
2012年1月

報告6
3月

報告7
6月

報告8
10月



抑圧された人々、ダリットたちの尊厳回復プログラム

南アジア・インド北部

歌が地域を変える 2010年11月

喜びあふれるときも、悲しみに押しつぶされそうなきも、なぜ私たちがこんな苦しみを受けなければならないのだろう、とあえぎ求めるときも、人が生きる時、そこには「歌」がある。「歌」は、私たちのこころを映し出してくれる。そして、私たちに新しい希望と力を与えてくれるのだ。世界のどこであっても、「歌」が与えてくれる慰めとインスピレーションの力は変わらない。「私たち」のこころに響く言葉で歌われ、自分も歌うことができるなら。私たちがひとつになり、新しいものを生み出すための共通語を「私たちの歌」が提供してくれるのだ。

長い間、差別の苦しみを受けてきたウッタル・プラデシュ州の北部の地域のダリットの人々にとって、ボジュプリ語こそ、こころに響く彼らの言葉だ。この言葉で彼らの喜びも悲しみも希望も、みんなと分かち合うことができる。今、人々が仲間と一緒に歌いたい歌は、自分たちはどうしようもないと嘆く歌なんかじゃない。惨めな自分を哀れむ歌なんかじゃない。そうではなく、「私」が、そして「すべての人」が「かけがえのない人間として造られ、誰にも代えられない大切な人生の目的を託されている」歌だ。こんな希望とインスピレーションの歌を聴きたい。仲間と一緒に心の底から歌いあげたい。

そのような中で、自分たちのこころの歌をこよなく愛するボジュプリ出身の作詞家、作曲家、アーティストたちが集まって、自分たちの地域の人々が「歌」によって励まされることを信じて何かをしたいと願っている人たちが今、起こされている。地域社会でダリットの尊厳回復の働きが前進するように、ビジョンと具体的な活動の方向を共有しあうため、今回ラムスラットさんは地域を訪問してアーティストたち10人ほどとミーティングを開いた。

村のアーティストたちの決意

ミーティングの最後に、村のソングライターの一人チャンドラバリさんが語った。「今、私たちのこの社会は変わらなければならない。そのことが良く判った。私にできることは、そのために人々にインスピレーションを与える歌を生み出すことだ。歌づくりがわたしの生活の糧だが、お金は要らない。私も参加しよう。」ラムスラットさんは、この言葉を聞いて感動したという。村のアーティストたちは、お祭り、結婚式や出産祝いで歌を披露し、その収入で生活しているのだ。お金をもらわずに、地域のために歌を作るという表明は、彼らの決意の深さを物語っている。

今回のミーティングに集ったアーティストたちは、それぞれ、このような決意を表明し、3月のソングライティング・ワークショップに向けて、このテーマを自分の中で思い巡らし温め始めている。それぞれが温めてきたものをワークショップで分かち合い、共通の歌とパフォーマンスを作り上げる予定だ。



さまざまな人々の賜物が差し出されて、「尊厳回復」の働きが進み始めた。

[プログラム内容](#) [報告1](#) [報告2](#) [報告3](#) [年間レポート](#) [報告4](#) [報告5](#) [報告6](#) [報告7](#) [報告8](#)

[Page Top](#)

[Share](#) |

[ホーム](#) [活動内容](#) [FVIの特徴](#) [参加する](#) [寄付・献金](#) [お問い合わせ](#)

Copyright(c) Friends with the voiceless International All Right Reserved

